

常磐パッケージ

大型ファン設置、暑さ激減

寒さ・乾燥
緩和にも期待
リニア駆動で省エネ

販売オーシャンテクノロジー

有力ボックスメーカー・常磐パッケージ㈱(佐々木臣志社長、福島県いわき市)は6月、ひたちなか事業所(茨城県ひたちなか市)で、暑さ緩和、熱中症対策のため大型シーリングファン「OT-Smart Ceiling Fan」(販売・オーシャンテクノロジー㈱)を導入した。リニア駆動で省エネ・省電力かつ高機能だ。同事業所が国内初の設置をあつて期待半分、不安半分だったが、『稼働直後に風を感じた。すごい』と効果を端的に語る。今年のような酷暑でも工場内は、満遍なく涼しく快適、作業環境が大きく向上した。



天井に設置されたOT-Smart Ceiling Fan(黒枠)、前列左=国井事業所長、同中央=三木氏、同右=伊藤氏、後列左=桜井課長代理、同右長山リーダー

常磐パッケージは1959年、常磐炭鉱㈱(現・常磐興産㈱)のクラフト紙袋製造工場として設立。2002年に常磐興産から独立し、08年高速グループ傘下。現在5事業所体制で、段ボールケース、強化段ボールの製造販売中心に事業展開する。

ひたちなか事業所(旧・勝田工場)は、1967年に段ボール製造を開始。その後、ハイブルエースのファブリケーターとして強化段ボールにも進出。2014年には現在、段ボールケースを製造する建屋を建設した。



同事業所の従業員数は60名。主な設備はFEGと印刷単体機、自動平盤打抜機、製箱機および、強化段ボール各種加工設備。なお今秋に自動平盤打抜機を増設予定という。段ボールケース加工は月産40万平米程度。国井学事業所長によると、多品種小ロット、土地柄工業製品向けが大部分を占めるという。今回、同事業所で、大型シーリングファンOT-Smart Ceiling Fanを7機設置した。年々、暑さが厳しくなる中、今年も夏は訪れる。その前に何もしなければ、もちろん同事業所でもスポットクーラーや扇風機、空調服など可能な限りの対策は講じていたが、決して充分とは言えなかったという。さらには、6月から、熱中症対策が義務化される

点も大きかった。排気型のファンはじめ様々な設備を検討したもの、建屋の構造やコスト面でなかなか決め手となるものがなかった。特に限られた人数で製造している中、従業員は所定の場所に居続けるこ



ひたちなか事業所外観

き、汗が乾き暑さが激減したという。梅雨時6月だったので、「暑さだけでなく、不快感あるシメジメとした湿気が大きく軽減された」(長山健人生産課リーダー)。事実、気温も他の建屋と比較して下がっている。体調不良の従業員も減るが、今年は同ファンが活躍する可能性が。夏場と巡回すれば、物理的に、天井に滞留する暖かい空気が拡散されて、暖気と湿度がもたれることを想定している。寒さ対策、野割れ抑制にも期待大だ。

多数の同業見学者

同社では同事業所での効果を受けて、他の建屋の解消にもつながるはおよぶ事業所での導入を検討する。また、同業見学者も多く訪れているが、『総じて』すごいで『ね』の一言、皆さん暑さ対策に苦慮しているからさぞ、実感がこもっている』と、国井事業所長は語った。労働環境、特に熱中症への対応は、業界共通の課題で、人手不足

ボトムロックグラー

SUN Engineering Co., Ltd.

http://www.suneng.co.jp